

エコールみよた Clip Board

エコール
みよた
(32)2770

参加者募集

パソコン教室②

「ワードコース1」 (全5回)

日本語入力と編集の基礎を学びます。
簡単な案内文の作成。
ご参加をお待ちしています。

【日 時】 平成28年6月14日(火)、
16日(水)、21日(火)、23日(木)、28日(火)
●午前10時～正午(全回共通)

【相談日】 6月28日(火)

【場 所】 エコールみよた2階
小会議室

【対象者】 町内在住者、在勤者

【参加費】 1人1,800円
(テキスト代込み)

【募集定員】 11名

【申込受付】 5月14日(土)
午前9時～9時15分まで
エコールみよたロビーで行います。

申し込みについて

※申し込みが定員を超えた場合は、抽選。初めて受講される方が優先となります。

※定員に達しない場合は、5月21日(土)まで募集していますのでお気軽に問い合わせください。

※最少定員(5名)に達しない場合は開講を見送る場合もあります。ご了承ください。

「ワードコース2」予定

受付日 8月6日(土)

開講日 9月13、15、20、27、29日

問い合わせ先

教育委員会生涯学習係(32)2770

企画展

「縄文1万年の記憶」

■内 容 今から1万数千年前、日本列島に縄文時代が幕を開け、以降2500年前にいたるまで多様な文化が花開きました。1万年以上におよぶこの時代の記憶を、信州を中心に、遺跡から発見されたさまざまな出土品をもとにたどります。

■日 時 4月29日(金)～8月31日(水)

■休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日)

ゴールデンウィークの4月29日～5月5日と8月は無休

■場 所 浅間縄文ミュージアム 企画展示室

■入館料 町民 大人300円

町内の高校生以下の方は無料



鉢形土器(面替小谷ヶ沢遺跡出土)

浅間縄文
ミュージアム
(32)8922

こどもの読書週間が はじまりました

期間:4月23日(土)～5月12日(木)

標語:「四角い本に まあるい心」

期間中はひとり10冊まで貸出します。

どうぞご利用ください。

おはなし会 ～読書週間スペシャル～

日時:5月5日(木)午前10時30分～

人形げき『だるまちゃんとてんぐちゃん』を上演します。
お友達を誘ってみんなできてね!

5月のおはなし会の予定

おはなし会(フレンズ)

5月14日(土)・28日(土) 午前10時30分～11時

おはなし会(図書館)

5月19日(木) 午前10時30分～11時

フレンドリー
図書館
(32)0800

5月12日は「民生・児童委員の日」です。

みなさん、民生児童委員の活動をご存知ですか？

民生委員は、それぞれの地域で、一人暮らしの高齢者などの援助活動をはじめ、地域福祉に関する相談に応じて、暮らしを支援しています。

また、民生委員は、児童委員を兼ねています。そのため、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談、支援もしています。

当町では、各区から選出された民生児童委員33名と主任児童委員2名の35名が、地域全体の福祉増進のために活動しています。主任児童委員は、児童に関する相談、支援を専門的に担当しています。

毎年5月には、「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」（5月12日の～18日）にあわせて、通学児童の見守りなどの活動を行っています。

民生児童委員の活動は、地域のみなさんとの信頼関係を基盤として成立します。そのために、民生委員には民生委員法に基づき守秘義務が課されています。

地域のみなさんの立場にたった活動をしていますので、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先 保健福祉課福祉係(32)6522

はじめてまごころ

絵本の世界

《四角い本にまあるい心》

今年のこともの読書週間の標語です。

子どもの無邪気でまあるい笑顔。

本を読むことでふわっとあつたかい、

「まあるい」心になる。

毎年4月23日(子どもの読書の日)から5月12日までの期間とされ、子ども

たちが読書に親しむことを願って設けられたものです。

この週間にちなみ、絵本と大人のための絵本から、温かい気持ちやまある

い幸せな気持ちになる本を紹介いたします。

『ココロのヒカリ』
谷川俊太郎さんと元永定正さんのコンビは、『もももももも』『カニツンツン』など独特でユーモラスな作品を生み出しています。その中の一つで、鮮やかな色使いが目を引く絵本です。

ページごとに谷川さんの選び抜かれたわずかの言葉と元永さんの色と光と単純化された形が絵本を構成しています。ページをめくる度に笑い、歌い、時に言葉と絵をみつめて楽しむことができるのです。単純化されることで読者が想像する事を許され、子どもは子どもの心で純粹に喜び、大人は大人の心で複雑に喜び幸せを感じることができるのです。



『ココロのヒカリ』
谷川俊太郎／文
元永定正／絵
文研出版

一般書

今月のおすすめの

一冊!!

『あかちゃんかわらうから』

どんなに悲しいことがあっても、子どもたちがいるとそこだけ明るく見えるのがとても不思議です。子どもの純粹さがそう見せるのでしょうか。

大人は、そのこどもの心に救われ、支えているはずの子に支えられているのかもしれない。

私が悲しい時も、世の中のニュースが悲しいことばかりで、灰色の雲しか思い描けない時でも、あかちゃんかわらう。そして大人のような変なくしゃみをして驚かせ、私を笑わせてくれる。

あかちゃんがかわらうから、みんながかわらう。

『なんて幸せな空気。』
おーなり由子さんの優しい水彩の絵が、赤ちゃんの柔らかな肌や笑顔をよく伝えています。

図書館では、子どもに読み聞かせをするのに参考になる本を用意しています。ご相談もお受けしますので、どうぞお気軽にお越しください。



『あかちゃんかわらうから』
おーなり由子／著
ブロンズ新社

BOOK
コーナー

ほんとに、いい出会い。